

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)	相模原市障害者施策推進協議会		
事務局 (担当課)	地域包括ケア推進課 電話042-769-9222(直通)		
開催日	令和3年3月1日(月)～3月10日(水)		
出席者	委員	20人(別紙のとおり)	
	その他	/	
	事務局	/	
公開の可否	可	不可	一部不可
傍聴者数	/		
公開不可・一部不可の場合は、その理由	書面会議のため		
会議次第	<p>1 開会</p> <p>2 委嘱状交付</p> <p>3 議題                      (1) 会長及び会長職務代理者の選出について                      (2) 相模原市障害者施策推進協議会について                      (3) 共にささえあい生きる社会さがみはら障害者プランの改定(案)について                      (4) 障害者手帳のカード化について</p> <p>4 閉会</p>		

## 審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(    は委員の意見、    は事務局の説明)

( 審議を書面等で行った理由 )

新型コロナウイルス感染症のまん延を防ぐために、委員等が一堂に会する方法により会議を開催することが困難であったため、書面により委員の意見を求め、回答を得ることにより会議の開催に代えることとした。

### 1 開会

### 2 委嘱状交付

### 3 議題

#### ( 1 ) 会長及び会長職務代理者の選出について

委員の互選により、会長は鈴木敏彦委員となった。

また、会長職務代理者については、会長の指名により、今井康雅委員となった。

#### ( 2 ) 相模原市障害者施策推進協議会について

本協議会の概要について、資料1のとおり説明(資料送付)。

協議会の位置付けや役割として、より具体的に知りたい。

障害者基本法に基づく障害福祉施策に関する審議を行う機関であり、障害者計画の策定や変更、障害福祉施策の取組状況の確認や議論を行う機関である。

今後の予定としては、共にささえあい生きる社会さがみはら障害者プランに掲載している取組状況などについて議論いただく予定である。

障害のある人の立場にたち、理解し合いながら意見交換ができればよいと思う。

#### ( 3 ) 共にささえあい生きる社会さがみはら障害者プランの改定(案)について

現在、改定作業を行っている共にささえあい生きる社会さがみはら障害者プランの改定(案)の概要について、資料2のとおり説明(資料送付)。

基本理念の中に「意思決定の支援」とあるが、市として具体的に検討している取組はあるか。

相談の実施に当たっては、障害のある人の意思を尊重するとともに、可能な限り、適切に意思決定を行うための取組を推進することが重要であり、重層的な相談支援体制の検証・評価などの相談支援体制の充実・強化に努める。

障害のある人が安心して地域で暮らせることが大事であり、地域での身近な相談ができるようにしてほしい。

相談体制の充実や地域で支え合う仕組みづくりなどは本プランに位置付けていることとあり、引き続き取り組んでいく。

高齢になった障害のある人が地域で安心して暮らせるよう、在宅やグループホームで過ごしている人への支援について検討していただきたい。

障害の重度化や障害のある人の高齢化、親亡き後を見据え、居住支援のための機能の充実を図っていく。

精神障害のある人の地域移行支援などに当たっては、病気の特性もあり、スムーズにいかないことがあるため、サポート体制の充実が不可欠であると思う。

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に当たっては、協議の場とともに、地域の人たちにも理解と協力をしていただくことが大事であると思う。

福祉サービスの向上に当たっては、障害福祉団体の意見を取り入れてはどうか。

この度の本プランの改定に当たっては、障害福祉関係団体にヒアリング調査にご協力いただいた。引き続き、各施策を検討していく上で、意見交換をさせていただく。

発達障害のある人への支援については、子どもだけでなく、大人への支援にも力を入れてほしい。

発達障害のある人やそのご家族への相談対応、発達障害に関する普及啓発の促進など、支援の充実に努める。

学齢期における支援において、校内支援体制をコンサルテーションするための巡回相談のあり方の検討に当たっては、青少年相談センターの機能の充実も併せて検討の必要があると考える。

本プランの進行管理については、本協議会と障害者自立支援協議会が連携しながら実施していただきたい。

ご意見を踏まえ、両協議会で連携が図れるよう努める。

#### (4) 障害者手帳のカード化について

障害者手帳のカード化の概要について、資料3のとおり説明(資料送付)。

視覚障害のある方が使いやすいような配慮はあるか。

表裏を判別できる切り欠きを行うほか、複数種の手帳をお持ちの方にも判別しやすいよう、手帳種別毎に異なったエンボス加工を施すことを検討している。

ICチップが非搭載の理由は、各種サービスの受給状況などを確認できる仕組みができれば、負担が軽減すると思う。

国から示された標準的な仕様や他都市の仕様に合わせている。

また、ICチップ等の搭載については、身体障害者手帳・療育手帳の交通事業者向けマイナンバーカードの利用拡大の方向性が示されており、その動向を注視していく。

障害者手帳のカード化の周知漏れがないよう、支援者や事業者なども周知されることを希望する。

#### 4 閉会

以 上

## 相模原市障害者施策推進協議会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	石川 敦	相模原公共職業安定所		出席
2	市川 照芳	相模原市視覚障害者協会		出席
3	今井 康雅	相模原市障害福祉事業所協会	職務代理	出席
4	大井 早苗	一般社団法人相模原市手をつなぐ育成会		出席
5	小黒 芳男	公募委員		出席
6	片岡 加代子	みどり会（相模原市精神障害者家族会）		出席
7	菊岡 正文	相模原市精神障がい者仲間の会（あしたば会）		出席
8	岸 茂子	公募委員		出席
9	木村 古津恵	相模原市聴覚障害者協会		出席
10	笹野 章央	社会福祉法人相模原市社会福祉協議会		出席
11	佐藤 浩三	社会福祉法人相模原市社会福祉事業団		出席
12	佐藤 聡一郎	一般社団法人相模原市医師会		出席
13	穴戸 真記子	一般社団法人相模原市手をつなぐ育成会		出席
14	正 多喜子	特定非営利活動法人神奈川県難病団体連絡協議会		出席
15	末広 多親子	神奈川県弁護士会		出席
16	鈴木 敏彦	和泉短期大学	会 長	出席
17	鈴木 善之	神奈川県立相模原中央支援学校		出席
18	堤 道子	相模原市民生委員児童委員協議会		出席
19	光井 裕人	公募委員		出席
20	吉原 君子	相模原市肢体障害者協会		出席